

わたしの
うすき
トリッ
3,1



夜



「#わたしのうすきトリッ」
を7ヶ
白杵の魅力を
発信してね!



本誌に関するお問合せ、その他の観光情報は
白杵市観光協会まで

発行元 / (一社) 白杵市観光協会
発行日 / 2023年10月
発行部数 / 15,000部
制作 / editor, writer, photographer : 藤谷 愛
artwork : coco's graphics

*当マップの情報は2023年10月現在のものです。
最新の情報は公式サイトなどでご確認ください。



幽玄の1枚はココで！
「白杵八坂神社」



白杵市民には「祇園さま（ぎよんさま）」と呼ばれ親しまれている白杵八坂神社。本殿に加え数々のお社のある境内や参道にはたくさんの灯籠があり、夕暮れ時ともなると一斉に灯りがともされる。市民にとっては日々の風景ですが、観光客にとっては幽玄の1枚をおさめるスポットになるかも。

昼とは別の顔も覗かせたい夕暮れ。
この時間にはしか出会えない
ノスタルジックな風景を探しに
いざ、夜のうすきトリッ、ふへ...



「フォト試し」スポット
「二王座歴史の道」



石垣や石畳が美しい「二王座歴史の道」は、国の都市景観100選にも選ばれた観光スポット。夜は妖怪が出ると思われるポイントが多々ある肝試しエリアでもあります。昼でも絵になる「甚吉坂」は日暮れも同様の必撮スポット。昼は坂下、夜は坂上からの撮影がおすすめです。

城下町の赤ちょうちん



「コンビニの数よりふく料理屋が多い」白杵は、知る人ぞ知る美食の町。夜は料亭からスナックまで、数多くの飲食店に明かりが灯り、そんなお店巡りが白杵滞在の魅力の一つでもあります。美味しく食べたお店、次の滞在で行こうと決めたお店の灯りを写真におさめては？寺町に続く新田ネオン写真は、他では撮れない1枚になることでしょう。

夜のうすきトリッは夕焼けから
「白杵城址公園」



白杵の中心街で美しい夕焼けを臨むなら、「白杵城址公園」がベストスポット！水ヶ城山などの上空にある雲をピンクに染め上げ、城址の石垣や櫓屋根、さらには近隣のお寺の屋根瓦をオレンジ色で覆うことも。お昼とは違う白杵の景色を探しに出かけてみましょう。

1...おすすの飲食店
裏面にくわしくのりて



ノスタルジック商店街
「八町大路」



白杵市街地・商業地区の中心ともいえる中央通り商店街「八町大路」。日が暮れるとまっすぐに伸びた石畳の直線道路には、オレンジ色外灯がぼんやりと灯ります。古い町並みと相まった300メートルわたるノスタルジックな風景。写真好きな方には特におすすめです。

うすき夜のイベント風景
1313

白杵城址桜まつりの彩り

毎年3月下旬～4月上旬



県南随一の桜の名所・白杵城址公園。ソメイヨシノは、桜まつり期間中夜9時までライトアップが行われる為、夜桜撮影の人気スポットとなっている。江戸時代から残る櫓や石垣は夜桜との相性抜群！広い城址公園の中から素敵な夜桜ポイントを探してみよう。屋台販売が行われ地元の家連れも多く、ゆったりとした安心の環境です。

うすき夜市の賑わい

6月～7月の毎週土曜



昭和25年から続く中央通り商店街が主催する「うすき夜市」。商店街や地元団体のボランティア精神で、くし引き・輪投げ・射的などのゲーム類や、綿菓子・かき氷・焼き鳥などの屋台販売は100円～と驚きの昭和価格！昔懐かしいレトロな夜市は、大人にとってもノスタルジックな時間になること間違いなし。写真好きな方は暗くなるまで是非待って。オレンジ色の外灯が素敵な1枚を演出してくれるはず。

白杵祇園まつりの熱気

毎年7月17日を含む週の日曜から土曜



起源が1642年まで遡る白杵八坂神社の例大祭で、大分県三大祇園祭の一つ。お祭り前の金曜夜は山車の曳出（ひきだし）が行われ、初日の渡御（おわたり）、最終日の還御（おかえり）で御輿や山車の行列を見ることが出来る。夜の見どころは曳出と還御後の曳込（ひきこみ）。鐘や太鼓の囃子が鳴り響く中、2基の巨大な山車を一斉に曳きまわす「辻出会い」は圧巻です。進行ルート全てが撮影のベストポジション。

白杵天神夏祭の伝統風景

7月25日より前の金曜～日曜



学問の神・菅原道真公や、昔から地域に伝わる「赤猫」をお祀りしていることから、近年愛猫家のお参りも多い福良天満宮。3日間に渡って行われる「白杵天神夏祭」は菅原道真公の誕生日にあたるお祭りで、赤獅子舞や岩戸神楽など奉納行事が多数。中でも最終日に行われる岩戸神楽を表現した「八雲払い」は、火を吹く大蛇が登場する大興奮の演目です。神を引っ張り合う「柴引」は期間中たくさん舞われ、夜遅くまで楽しむ親子連れも。子どもはもちろぬ、大人もついつい童心に戻る、昔ながらのお祭です。

うすき竹宵の幻想風景

11月第一週の土曜、日曜日



1997年に始まった白杵発祥の竹灯りイベント「うすき竹宵」。約2万本の竹ぼんぼりや、趣向を凝らした竹オブジェの灯りが温かく彩ります。白杵に古くから伝わる真名長者伝説をもとに、般若姫の御霊が両親と娘の待つ白杵市への帰郷を表現した「般若姫行列」の美しさは圧巻。竹ぼんぼりが彩る幽玄の城下町を楽しめる幻想的な2日間です。うすき竹宵は秋の風物詩として白杵市に根付き、各種イベントや地元グルメの物産販売など市民たちも盛り上げます。味噌蔵各店が行う「味噌すくい」は顔造りの町・白杵らしい人気催し物特におすすめ。

